

静岡県 高校入試情報

令和7年度静岡県入試の全体傾向

●令和7年度入試の大問構成

- 大問1 小説 にしがきようこ「アオナギの巣立つ森では」
大問2 論説文 中屋敷均「わからない世界と向き合うために」
大問3 表現
大問4 古文 「雲萍雑誌」
大問5 作文 全国学校図書館協議会「第67回学校読書調査報告」

大問5題の構成。大問3では、理由を具体的に示せるような一文を原稿に加えさせる問題が出題された。全体的に文章記述問題が多いので、時間配分に気をつけたい。

★静岡県の入試は、『国語の新研究』でバッチリ！

■文章記述問題の対策

文章を記述して解答する形式が多いうえ、本文からの抜き出しや指定語句を提示されないのが、本県の特徴である。解答に必要な内容を字数内に的確にまとめられるように、しっかり対策をしておきたい。

新研究で対策！

- 巻頭特集「国語のキホン」(p. 2～5)や、ウォームアップ特集「記号選択・記述問題のキホン」(p. 26～27)では、文章記述問題の解き方・考え方を、一から丁寧に解説しています。
●「解説・解答集」では、丁寧にわかりやすい採点基準で、文章記述問題の自己採点がしやすくなっています。

■古文の問題の対策

例年、古典が独立した大問として出題されている。本年度も読解に加え、歴史的仮名遣いや主語を答える問題など、古文の内容について幅広く出題された。多くの古典作品にふれて、類題にも取り組みたい。

新研究で対策！

- ウォームアップ特集「はじめよう！古文」(p. 80～81)では、古文の問題を解く際に勘違いしやすい部分を再確認できます。
●フォロー特集「古文のかなづかい・重要古語の徹底練習」(p. 104～p. 105)や「古文プラス問題」(p. 114～115)で、苦手になりがちな古文の問題を手厚く対策できます。

令和7年度静岡県入試では、語句の知識を問う問題が出題されました。慣用句や熟語などの知識事項をおさえておきましょう！



★静岡県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	漢語 字句	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう	●		●	
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう	●	●	●	●
		展開をとらえよう	●	●	●	●
		心情をとらえよう				
		行動の理由・人物像をとらえよう	●	●	●	●
		文章中の表現を味わおう			●	●
		話題・情報をとらえよう			●	
		指示語・接続語をとらえよう	●	●	●	
		文章を解釈しよう		●		●
		理由をとらえよう	●			
		段落構成をとらえよう				
		要旨をとらえよう	●	●	●	●
	古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●	●	●	●
		古文の会話・主語をとらえよう	●	●	●	●
		古文の展開をとらえよう	●	●	●	●
		漢文・漢詩を味わおう				
	詩歌	詩・短歌を味わおう				
		和歌・俳句を味わおう				
	文法	文の組み立てを知ろう				
		自立語を学ぼう		●	●	●
		付属語を学ぼう	●			
	表現・情報	敬語を使いこなそう	●	●	●	●
		グラフ・図表をとらえよう				
		話し合いをとらえよう	●	●	●	
		伝え方の工夫を学ぼう	●	●	●	●
		課題作文を書こう	●	●	●	●
		★聞き取り問題				
別出の題傾向	別出の題傾向	大問数	5	5	5	5
		小問数	26	26	26	26
		記号解答	7	7	7	9
		記述式解答(漢字の読み書きも含む)	19	19	19	17

★新研究で出題した静岡県の入試問題(令和7年度)

- p. 135 (5) 敬語